

【家庭の日推進大会 3BL 市民会議の発表内容】

1 アンケート項目

第3ブロックの小学5年生と中学2年生とその保護者を対象としたアンケート実施。

Q. あなたは家庭の日のことを知っていますか？

Q. あなたにとって家庭はどんなところですか？

Q. あなたは家族の絆を深めるために必要なことは何だと思いますか？

Q. あなたは困っているときに誰に相談しますか？

2 回答結果の要点と提言

- 「家庭の日」の認知度は上がっているため、今後の課題は「家庭の日」の質を高めていくことが大切。
- 家庭の質を高めることで昨今の社会問題である不登校、いじめ、教育関係各種団体役員のなり手不足などの解決に繋がるのではないかな。
- 家庭が何でも気軽に相談できる場となるよう、子どもの話に耳を傾ける姿勢が重要ではないかな。
- 誰にも相談しないと答える小中学生が13%いることから、何でも話しやすい空間になるよう家庭を見直していく必要はないかな。
- 「夢や希望を語り合うこと」「喜びの共有」「子どもを認めること」が『自己肯定感』『自己有用感』『自己効力感』に繋がることを理解する必要はないかな。

3 第3ブロックからの提言

青少年育成市民会議をはじめ、自治会・PTA・子ども会など各種団体のコミュニティーは、地域の絆を深め、生活の質を向上させるために不可欠です。何よりもこういった役割を担うことで、貢献感や自分の存在意義を感じることができます。幸せの土台である「自己肯定感」「自己効力感」「自己有用感」を私たちは、無意識に感じることができているのです。

子は親の背中を見て育ちます。私たちが地域の活動をすることで、その背中を見て育った子どもたちも、人の役に立つ喜びが感じられる大人に成長していくはずですよ。

予測困難な時代ですが、みんなでつながりながら、親子のコミュニケーションや地域での活動を大切にしていきたいでしょう。次の世代が人々の絆をさらに深め、より良い社会を築いていくことを願っています。

『家庭の日』に関わるアンケート結果

第3ブロックの小中学生のみなさん、保護者のみなさん
アンケートのご協力ありがとうございました。

結果がまとまりましたので、ここに掲載いたします。

今後も地域のさまざまな活動にぜひご協力ください。
よろしくお願いします。

第3ブロック青少年育成市民会議 事務局

実施概要

	小学生 (5年生)	中学生 (2年生)	保護者
児童生徒 数(人)	385	533	918
回答者数 (人)	221	219	210
回答率 (%)	57. 4	41. 1	22. 9

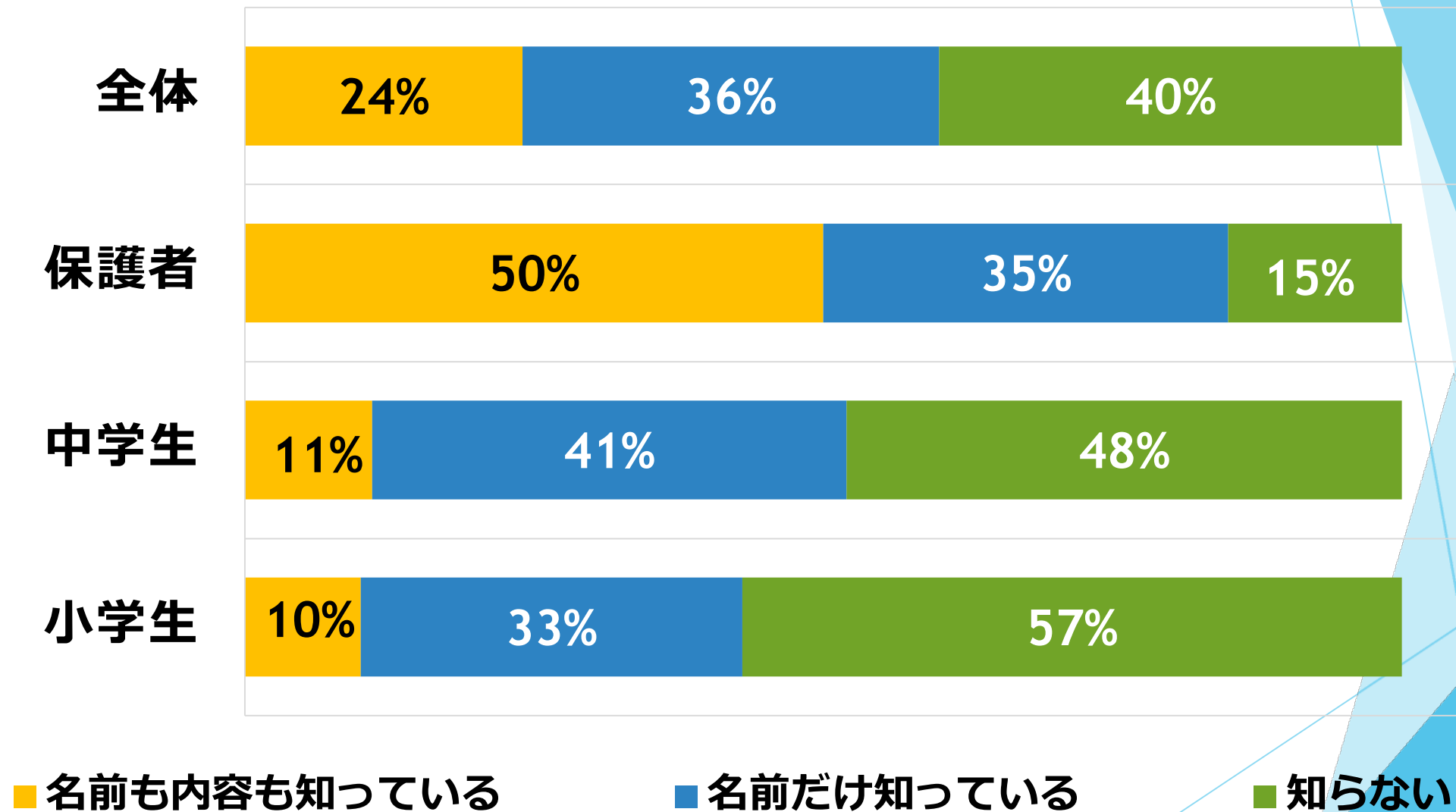
(1)実施期間

令和6年6月7日～令和6年7月8日

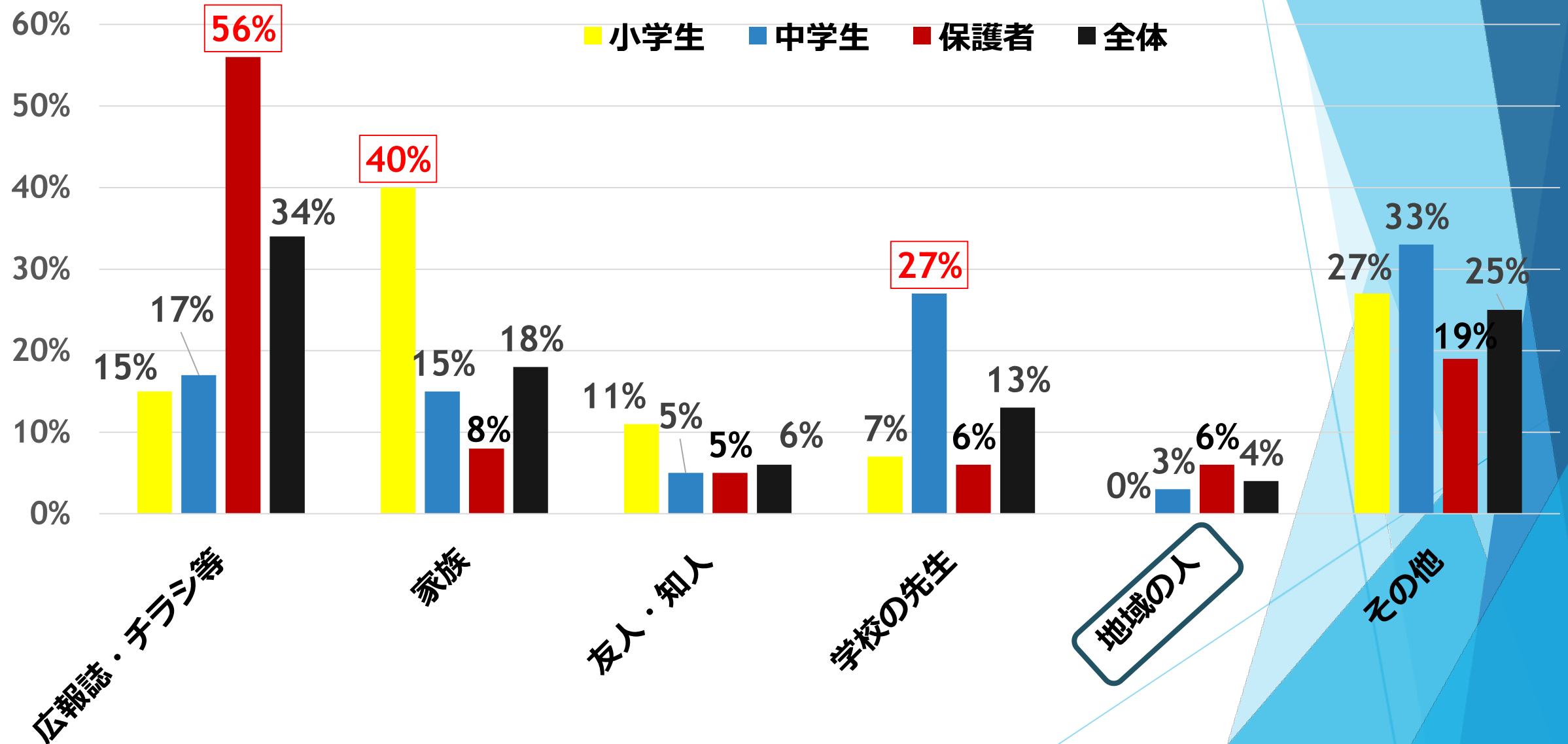
(2)対象者等

- ・3ブロック内の小学校8校、中学校4校とその保護者
- ・アンケートの回答は任意

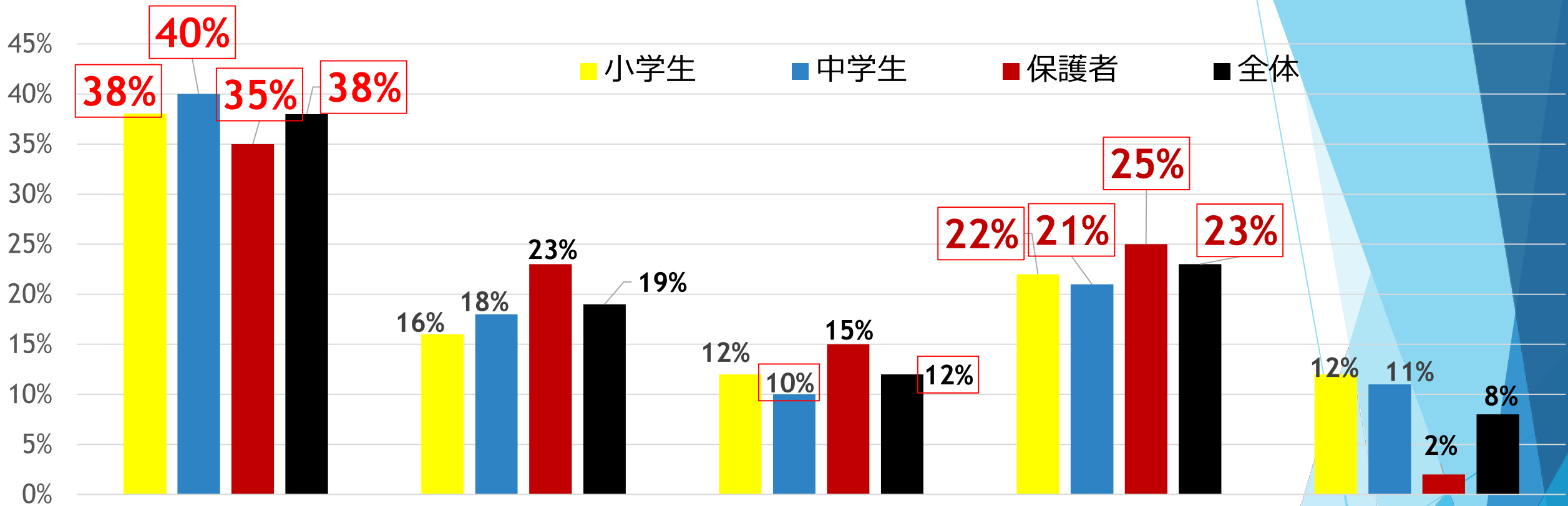
Q1 「家庭の日」のことを知っているか



Q2 家庭の日を知ったきっかけは



Q3 家庭はどのようなところか



安心して落ち着く所

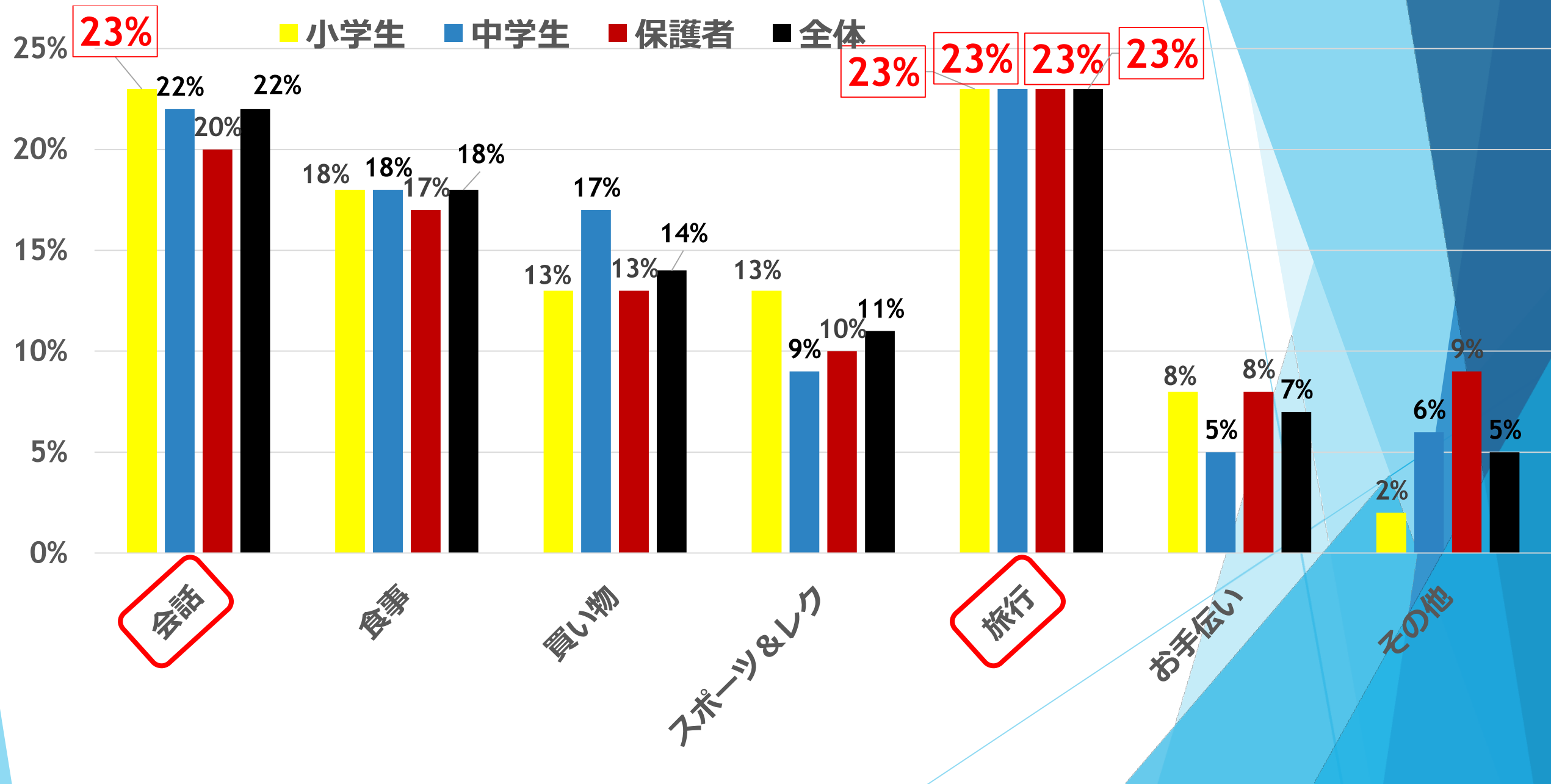
生活習慣やルール

夢や希望を語り合う所

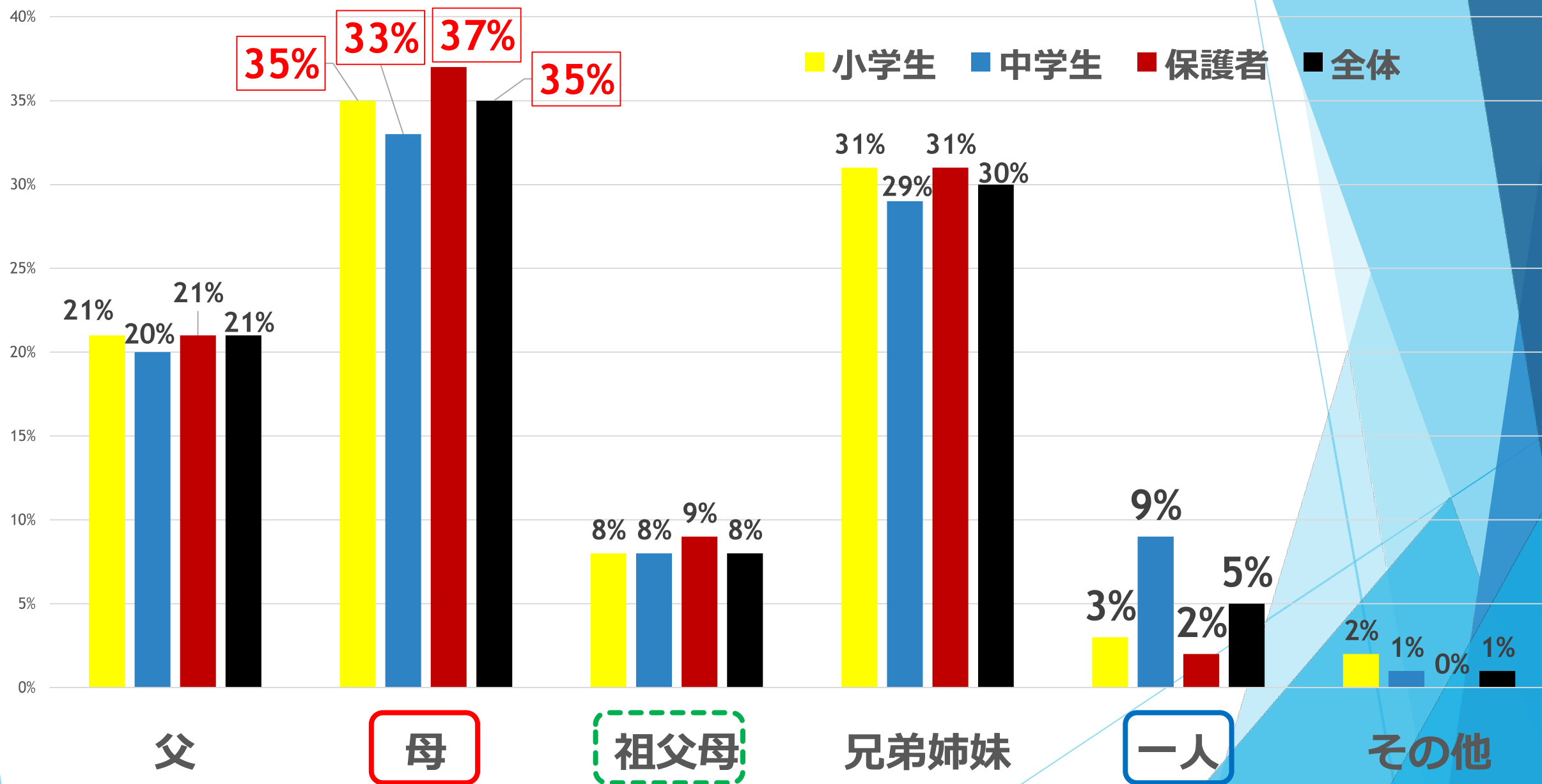
気軽に話せる所

その他

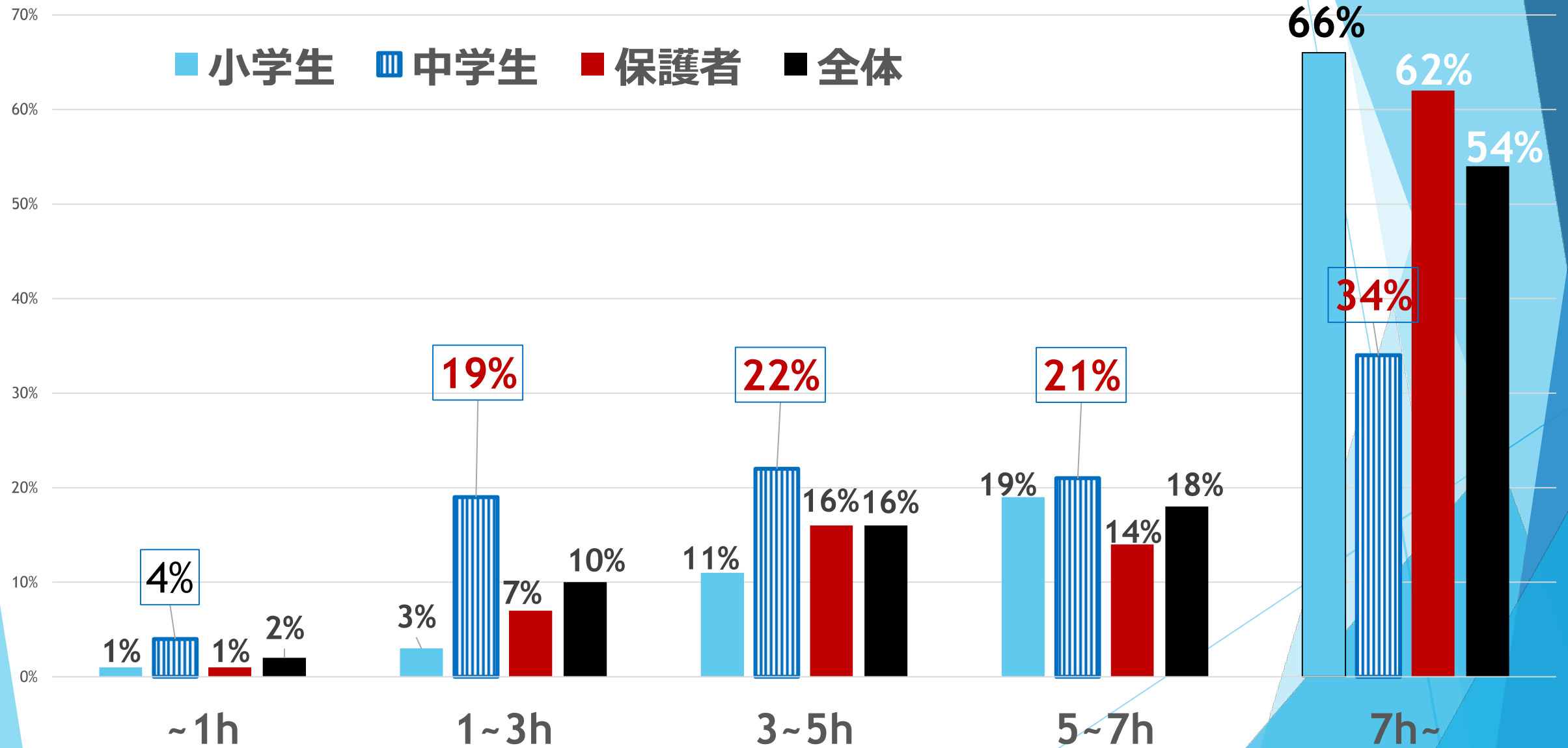
Q4 家族とどんなことをする時が楽しいか



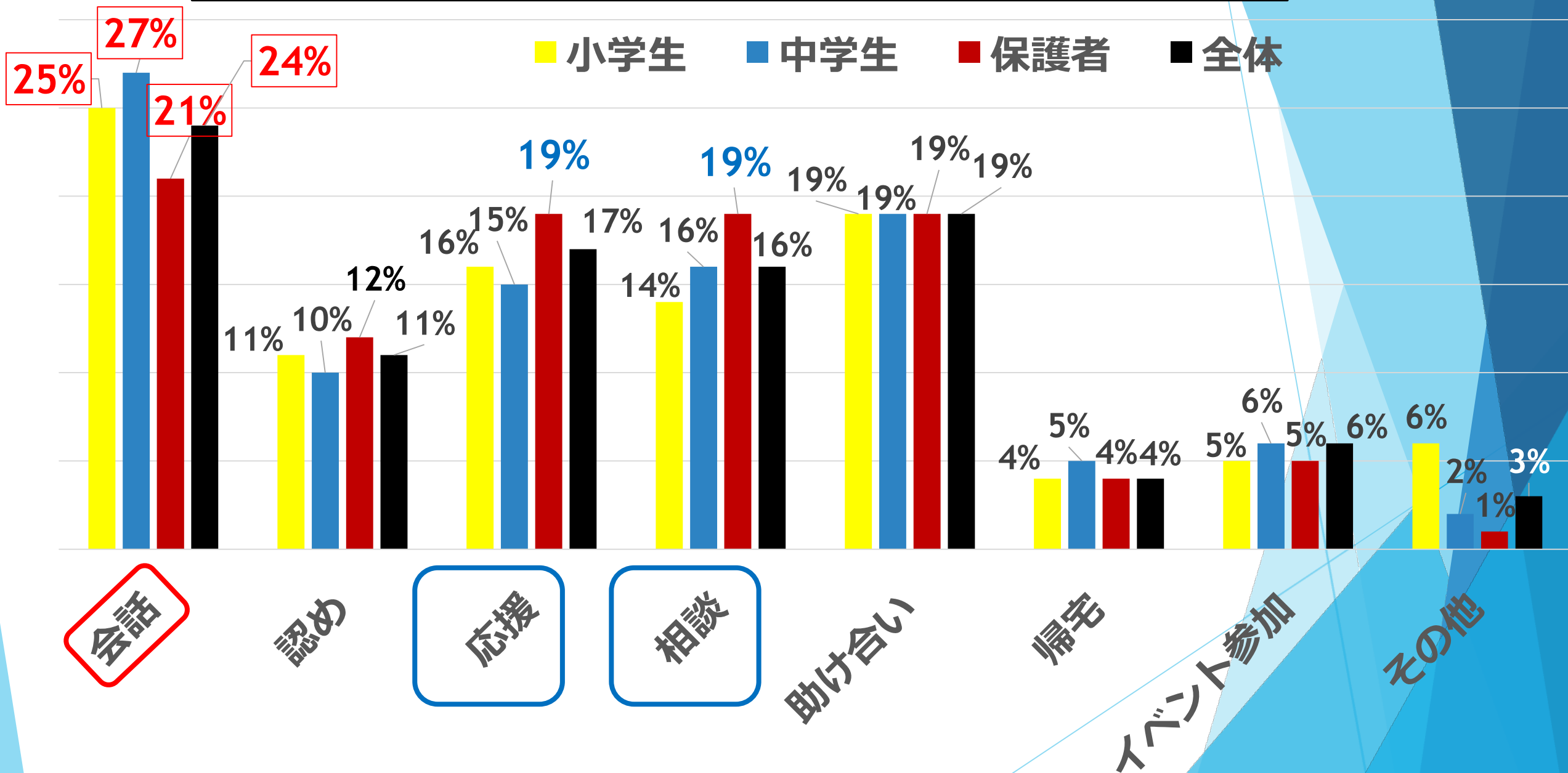
Q5 だれと夕食を食べるか



Q6 休日に家族と一緒に過ごす時間



Q7 家族の絆を深めるために必要なことは何か



ま と め

- 「家庭の日」の周知・啓発を創意工夫した取組が必要
- 家庭は、重要な「居場所」であり、様々なコミュニケーションが取れるようにすることが大切
- さらなる子ども目線での「子ども理解」が必要
- 親（大人）の意見や考えを押し付けていないかを見つめ直すことが大切
- ◇悩みや困りごとを打ち明けやすい地域環境づくり